

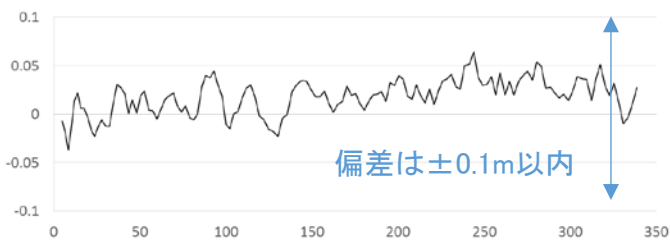
GNSS運転支援装置の乾田直播作業体系での利用

技術の概要

※GNSS: Global Navigation Satellite Systemの略: 衛星測位システム

・トラクタに測位衛星を利用したガイダンスシステム及び自動操舵装置を取り付け、水稲乾田直播体系のトラクタ作業に使用することで、各作業を高精度かつ省力的に実施することができる。

プラウ耕グレーンドリル播種体系の各作業とも2m/s以上での作業を実施でき、播種作業は3m/s以上でも±10cmの作業が可能である。



ガイダンスモニタ



GNSSアンテナ
(屋根上)



操舵モータ内蔵ステアリング ジャイロセンサ
GNSS運転支援装置

期待される効果

・前方を注視してハンドル操作をする必要がないことから、作業中のオペレータの負荷の軽減が図れる。

このほか



ガイダンスモニタによる作業進捗状況の把握等の効果がある。



日没後の作業による作業時間の拡大



マーカ跡が付きにくい状況でも正確な作業が可能

【お問い合わせ先】 農研機構東北農業研究センター

企画部産学連携室 広報チーム 電話: 019-643-3414

当該技術は農林水産省委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の成果です。